

第 13 回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和 4 年 11 月 14 日（月）

18 時～19 時 30 分

会場：長野県佐久合同庁舎 講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 会議事項

(1) 第 12 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて

(2) 佐久新校の校地選定について

(3) 新校の学びのイメージについて

(4) 募集開始年度及び募集学級数について

(5) 今後のスケジュールについて

4 その他

第 14 回佐久新校再編実施計画懇話会について

【日時】12 月 15 日（木） 18 時～19 時 30 分

【会場】長野県佐久合同庁舎 講堂

5 閉 会

【視聴用 URL・二次元コード】

(小諸新校) <https://youtu.be/isBJ9fyNgFk>

(伊那新校) <https://youtu.be/gyWI1QRS9NA>

(小諸新校)

(伊那新校)



佐久新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

○ = 新構成員

| 区分 | 氏名 | 所属等 |
|-------|--------|----------------------|
| 自治体 | 花里 英一 | 佐久市 副市長 |
| | 吉岡 道明 | 佐久市教育委員会 教育長 |
| | 茅根 健司 | 南佐久郡町村教育委員会連絡協議会 会長 |
| 産業界 | ○坂川 和志 | 佐久商工会議所 副会頭 |
| | 渡辺 仁 | 佐久総合病院 統括院長 |
| | 白鳥 敬日瑚 | マイクロストーン株式会社 代表取締役社長 |
| 学識経験者 | 堀内 ふき | 佐久大学 学長 |
| 地域 | 廣末 恵子 | 社会医療法人恵仁会 医師 |
| | 高橋 功 | 佐久地域振興局 局長 |
| 同窓会 | 吉岡 徹 | 野沢北高等学校同窓会 会長 |
| | 中島 瑞枝 | 野沢南高等学校同窓会 会長 |
| PTA | 木内 良夫 | 野沢北高等学校PTA 会長 |
| | 神津 かずみ | 野沢南高等学校PTA 会長 |
| | 竹内 由貴 | 全佐久PTA連合会 副会長 |
| 学校関係者 | 鹿取 俊彦 | 佐久中学校長会 会長 |
| | 森泉 雄二 | 佐久小学校長会 会長 |
| 再編対象校 | 中嶋 俊太郎 | 野沢北高等学校 生徒会長 |
| | 小林 滝 | 野沢北高等学校 生徒会副会長 |
| | 小山 莉歩 | 野沢北高等学校 生徒会副会長 |
| | 渡邊 陽樹 | 野沢南高等学校 生徒会長 |
| | 横川 響菜 | 野沢南高等学校 生徒会副会長 |
| | 小林 笑奈 | 野沢南高等学校 生徒会副会長 |
| | 柳沢 敬 | 野沢北高等学校 校長 |
| | 山下 純一 | 野沢北高等学校 教諭 |
| | 井出 豊彦 | 野沢南高等学校 校長 |
| | 木下 照美 | 野沢南高等学校 教諭 |

事務局

| 野沢北高等学校 | | 野沢南高等学校 | | 高校再編推進室 | |
|---------|-----------|---------|------------|---------|--------------------|
| 石川 順三 | (教頭)・事務局長 | 橋爪 俊彦 | (教頭)・副事務局長 | 山岸 明 | 主幹指導主事 |
| 山下 純一 | | 児平 修一 | | 柳沢 勝美 | 主任指導主事 (佐久新校担当) |
| 白石 克典 | | 宮内 孝明 | | | |
| 神岡寿賀子 | | 木下 照美 | | | |
| 清水 貴弘 | | 山口 達之 | | | |

12回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

| | |
|----------------|--|
| 日時 | 令和4年(2022年)8月25日(木) 18時00分~19時15分 |
| 場所 | 長野県佐久合同庁舎 講堂 |
| 出席(敬称略) | 吉岡道明, 花里英一, 茅根健司, 相馬栄治郎, 渡辺 仁, 白鳥敬日瑚, 堀内ふき, 廣末恵子, 高橋 功, 吉岡 徹, 中島瑞枝, 木内良夫, 神津かずみ, 鹿取俊彦, 森泉雄二, 柳沢敬, 山下純一, 井出豊彦, 木下照美, 以上19名, 竹内由貴(オンライン) |
| 傍聴者 | 10名(報道1社) |
| 事務局 | 野沢北高校: 石川 教頭(事務局長), 白石教諭, 清水教諭 野沢南高校: 橋爪 教頭(副事務局長), 山口 教諭 県教育委員会: 堀田企画幹, 高野幸子室課長補佐, 塩川施設係主任, 斉藤施設係主事, 柳沢主任指導主事 |
| 当日資料 | ○次第, 第11回懇話会まとめ, 定時制高校計画, 佐久新校イメージ(案), 校地選定に係る項目(案) |

会議事項

- (1) 第11回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 再編・整備計画【三次】(案)について
- (3) 新校の学びのイメージについて
- (4) 佐久新校の校地選定について
- (5) スケジュールについて

主な内容(要旨) ⇒県教委 →事務局

<再編・整備計画【三次】(案)について>

○東信地区の定時制の配置についての説明。

<佐久新校の学びのイメージについて>

○文系理系というように特化して学ぶよりも、大学進学や社会に出た時のことを考えると幅広く学んでいくことが重要だと考える。

○単位制については、多様な生徒の個別最適な学びを実現するうえで必要なシステムである。

○生徒の集中力を考えると50分より短い時間で授業をした方が良いのでは。また、他校との単位互換はできるのか。

→他県では30分で授業している学校もある。現在は行われていないが、他校との単位互換の可能性を含めて今後検討していく。

○キャッチフレーズの「探究心を未来の好奇心へ」については、もう少し皆さんからご意見をいただきながら検討した方が良い。

<佐久新校の校地について>

○跡地利用を検討項目から外した理由を教えてください。

→跡地の活用については、地元自治体とも情報共有しながら今後検討していくものである。現段階で校地選定について考えられるものがないため、検討項目から削除した。

○検討項目についてはこれでよいが、各項目について判断した根拠について丁寧に説明していただきたい。

<今後のスケジュールについて>

○校名募集だけでなく、施設整備についてのスケジュールも例示してほしい。

→次回の懇話会でお示しする。

<その他>

○校地選定にあたり、何を重視するかを両校の生徒・保護者を含め地域住民から意見を広く集めるため、事務局がアンケート調査を行う。

・両校同窓会から知事に要望書を手渡した旨の報告があった。

次回の予定

日時: 令和4年 月 日()18時~19時30分

場所: (調整中)

会議内容: (調整中)

夢のある未来社会を地域と共創する佐久の学びの拠点校

目指す
学校像

- 高い志の進路を実現し、地域・日本・世界に貢献する人を育む
- 知的な創造力と活用力を磨き、自らの可能性を追求する人を育む
- 深く真理を追究し、コミュニケーション力・表現力・発信力を育む
- 多様な価値観を認め、固定観念に囚われない柔軟な発想力を育む

生徒
像

- 主体的、創造的に新時代を切り拓く、進取の精神に溢れる生徒
- 自分の考えを適切な方法で表現し、発信することができる生徒
- 多様性を尊重し他者と協働して、未来社会を共創できる生徒



【新たな学びを支える先進的なシステム】

- ◆ 探究的手法を学びの核とし、地域と連携した学習活動
- ◆ 「もっと学びたい」に応える教科の枠を超えた学び
- ◆ 単位制[進学型]や校外学修を活用した個別最適な学び
- ◆ 確かな学力と教養の獲得を実現する柔軟なカリキュラム編成

普通科

- 地域・日本・世界で未来社会を共創する核となる教養人の育成を目指す
- ・ 多様な地域連携によりグローバルな視点で探究的な学びに取り組む
- ・ 柔軟な科目選択や校外学修により、充実した個別最適な学びのシステムを構築する
- ◇ 四年制大学や海外留学等、多様な進路実現を目指す

理数人文科学科(仮称)

- 理数的な視点やグローバルな視点で社会の課題解決に挑む資質・能力の育成を目指す
- 【理数科学選択群】 地域や地球的規模の課題を大学や各種機関と連携し理数的視点で学ぶ
- 【人文科学選択群】 国際理解と地域課題解決をキーワードにグローバルな視点で学ぶ
- ◇ 難関国公立大学や海外留学等、多様な進路実現を目指す

1年次：普通科・理数人文科学科(仮称)とも必修科目を中心に履修

共同研究による
アイデア発信



<地域と連携し未来社会を共創>
OBによるアカデミックサポーター



先進的な学びで
地域課題を探究

佐久エリアコンソーシアム

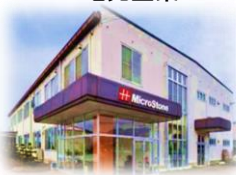
大学



医療機関



地元企業



自治体



研究機関



- ◆ 定時制課程（普通科）三修制の導入により3年での卒業も可能なシステムを構築

NSDプロジェクト 新校施設整備スケジュールのイメージ

例)2月県議会で同意を得られた場合

